

# ごあいさつ



## 小 山 清 人

代表機関  
山形大学長

この度、平成27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」に採択されまして、連携機関であります大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学の皆様と共に、事業を推進し、成果を上げてまいりたいと存じます。

本学は、平成21年度に文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」の採択を受けまして、「山形ワークライフバランス・イノベーション」をテーマに3年間事業を推進して参りました。採択事業終了後も、女性研究者支援及び教職員のワークライフバランスの実現をテーマに、取組みを継続して参りました。

昨年度は、医学部保育所に次いで二つ目の保育所を小白川キャンパスにオープンさせることができました。女性研究者の場合、パートナーと離れて一人で子育てをしているなど、研究と生活の両立に苦労しています。カップルで勤務先を得るのは難しいという地方大学の悩みを山形大学も抱えており、女性研究者比率の向上は厳しい課題です。

さらに、理工系は男性の分野とする固定的な見方が影響しているためか、女性教員の応募も決して多いとは言えません。

工学部では、有機エレクトロニクス分野で世界的拠点となるべく研究施設を充実させております。また、未来のライフスタイルの実証実験を行う施設としてスマート未来ハウスも完成し、多様な人々の快適空間づくりの研究が始まっています。これらの研究に女性研究者の参画が求められています。

多様な研究者を惹きつけることのできる研究環境の一層の改善と魅力向上のため、これまで長く共同研究・協力関係にありました大日本印刷株式会社研究開発センターの三宅センター長様及び山形県立米沢栄養大学の鈴木学長様のご理解を得まして、それぞれの強みを活かした女性研究者支援と研究力向上に向けた3機関の連携が成立いたしました。

企業と大学という異なる組織、多様な研究者の出会いが生み出す化学反応がこれから期待されます。外からの変化を柔軟に受け入れつつ、自らも変化していくことが今、求められています。

東北地区では先駆けとなるダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業の成功に向けて、連携機関及び関係各方面の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。